

第80回国民スポーツ大会山形県予選会
兼 第53回東北総合スポーツ大会山形県予選会
軟式野球競技実施要項

1. 主催 公益財団法人山形県スポーツ協会、山形県
山形県高等学校体育連盟、山形県中学校体育連盟
酒田市、酒田市教育委員会
2. 主管 公益財団法人酒田市スポーツ協会
山形県野球連盟、酒田地区野球連盟
3. 期 日 2026年7月11日（土）より2日間 雨天順延
4. 会 場 SHONAI ENERGY スタジアム（酒田市宮光ヶ丘野球場）
5. 競技種別 軟式野球（成年男子）
6. 適用規則 2026年公認野球規則、2026年度全日本軟式野球連盟競技者必携を適用する。また、大会特別規則を設ける。
7. 試合方法 (1) トーナメント方式とし、全試合9回戦とする。
(2) 正式試合になる回数を7回とするが得点差によるコールドゲームを適用する。
コールドゲームは、全試合7回以降7点差とし、その場合でも正式試合とする。
(3) 9回を完了して同点の場合は、健康維持を考慮し延長戦は行わずタイブレーク方式により勝敗を決する。（大会特別規則）
8. 参加資格編成 公益財団法人全日本軟式野球連盟規定細則を適用する。
9. 出場チーム 強化指定チーム（楯野川ベースボールクラブ）は、推薦出場とする。
原則は、強化指定チーム1、山形1、新庄1、米沢1、鶴岡1、酒田1チーム及び開催地（酒田）推薦の合計7チームとする。
↓
5月25日現在、出場チーム数に変更が生じたため、次のとおり変更とする。
強化指定チーム（楯野川ベースボールクラブ）は、推薦出場とする。
強化指定チーム1、山形2、新庄2、米沢0、鶴岡1、酒田1チームの合計7チームとする。
チームの監督は、JSPO指導者の有資格者であることを参加条件とする。
10. 組み合わせ 2026年2月21日（土）に開催した山形県野球連盟定時評議員会の席上、代理抽選を行った。その後、チーム数に変更が生じたため5月29日に再抽選を行った。結果は、別紙のとおりである。
11. 使用球 公益財団法人全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーボールM号を使用する。
12. 参加申込み 参加申込みは試用期間（過渡期）のため、下記2つの申込みとする。
① 出場資格を得たチームは、所定の参加申込書を作成し、所属地区連盟を経由し、6月25日（木）までに必着するようメール送信にてエクセルデータを送ること。なお、会長印は不要とする。
チームから直接送られた場合は正式申込みと認めません。
酒田地区野球連盟 理事長 川守田 義則 yoshinori.kawamorita@gmail.com

②各地区野球連盟事務局は、代表チームが決定したら速やかに県連事務局へ報告する。報告様式は、山形県予選会代表チーム報告様式を用いる。各チームには、「野球ねっと」に登録している担当者あてに大会申込みの招待メールが送られる。チーム担当者は「野球ねっと」を通じて大会参加の申込み申請を行うこと。申請後は、各地区野球連盟の承認および県連の承認を得て大会参加が完了となる。
申込締切日は6月25日(木)とする。

13. 参加料

- (1) 本大会に参加する監督、選手は、次の参加料を納入すること。
参加料一人1,500円(オリンピック募金150円、スポーツ振興募金の200円を含む)とする。大会当日、人数分金額を本部受付に納入すること。
- (2) 大会運営費について、次を納入すること。
1チーム25,000円を徴収する。大会当日、本部受付に納入すること。
また、試合球3個(11の大会使用球参照)を持参すること。

14. 監督会議

行わない。試合開始予定1時間前まで本部で受付をすること。

15. 開始式

7月11日(土)午前8時00分 SHONAI ENERGY スタジアムで行う。第一試合を行うチームの監督・選手は全員参加すること。ただし、勤務の都合で開始式に参加出来ない選手でも試合には出場できる。この場合、開始式には選手10名以上は必ず参加すること。

16. 表彰

- (1) 優勝から第3位までのチームには賞状を授与する。
- (2) 優勝チームには、8月21日(金)から福島県楡葉町・富岡町で開催される東北総合スポーツ大会への出場権を与える。山形県代表チームは、B会場の富岡町総合公園野球場で、岩手県と秋田県の各代表チームとのリーグ戦で対戦することが決定している。なお、国民スポーツ大会は、10月11日(日)～14日(水)＜監督会議10月10日＞に青森県で開催される。

17. その他

- (1) 本大会の参加申込書は、パソコン等で入力すること。また、手書きの場合は楷書で記入すること。入力方法は、監督・主将・以下選手は背番号の若い方から入力すること。守備位置は、投手・捕手・内野手・外野手と入力すること。
- (2) 出場選手は、ユニフォームに背番号(監督30番・主将10番・選手0～99番)と左袖に必ず県名を付けること。
- (3) 参加申込書提出後は、選手の追加、変更および背番号の変更は一切認めない。
- (4) ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番を含む選手16名以内とし、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)の各1名とする。
- (5) 打順表(登録された選手全員を記入したもの)の提出は、初日の第1試合で対戦するチームは開始式があることから開始予定時刻の45分前とする。第2試合以降は前の試合の5回終了時に監督または主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもと攻守を決定する。2日目の第1試合は開始予定時刻の30分前とし、第2試合は前の試合の5回終了時とする。なお決勝戦は、第2試合終了の20分後とする。
- (6) 用具及び装具は、公認野球規則で規定されているもののほか、(公財)全日本軟式野球連盟公認のものを使用しなければならない。
- (7) 捕手は、危険防止のため、SGマークの付いた(公財)全日本軟式野球連盟公認の捕手用ヘルメット、マスク(スロートガード付)、レガース、プロテクターを着用すること。
- (8) 打者、次打者、走者、ベースコーチは、SGマークの付いた(公財)全日本軟式野球連盟公認のヘルメットを着用しなければならない。なお、打者、次打者、走者は両側か片側にイヤーフラップの付いたものとする。
- (9) 試合に出場する捕手及びブルペンの捕手は、必ずファウルカップを着用すること。

- (10) ユニフォーム・帽子等の装具は、(公財)全日本軟式野球連盟競技者必携に記載のとおりとする。
- (11) シートロック後および試合終了後のグラウンド整備は、積極的に協力すること。
- (12) 喫煙は、ユニフォーム・チームジャージ着用時は禁止とする。なお、試合に集中するため、当該試合中のチーム関係者の喫煙を控えることとする。
また、球場からの協力要請もあり喫煙指定場所は必ず守ること。
- (13) 大会本部では傷害保険に加入しないので、各チームにおいて対応すること。
- (14) 健康保険証等これに準ずるものを必ず持参すること。
- (15) 自チームのゴミは持ち帰りを原則とする。
- (16) 宿舎の斡旋はしないので、宿泊を希望するチームは独自で宿舎を決定し、決定後は開催地区連盟事務局まで連絡すること。
- (17) 災害や暑熱対策等でやむを得ず予選会が開催できなかった場合は、その他の大会の実績等をもとに臨時常任理事会を開催し選考するものとする。

※ 実施要項に変更があった場合は、各地区野球連盟を通して参加チームに連絡する。